

(28) 藻類養殖指導

予算

運営費交付金

結果の概要

藻類の養殖期間に合わせ、2014年11月から2015年3月に測定した漁場の表層塩分(表1)は、11、12月の谷川以外は32を越えることが無く、やや低めとなった。リン(DIP)は、1月以降にノリ色落ち警戒濃度を下回る地区がみられるようになったが、ワカメの警戒濃度を下回ることにはなかった(表2)。窒素(DIN)は、12月以降にノリ色落ち警戒濃度を下回る地区がみられたが、ワカメ警戒濃度を下回ることにはなかった(表3)。

ノリの育苗は10月23日～11月20日に行われた。芽付きの濃い網に芽イタミがみられたが、生理障害の発生状況は軽微であった。ノリ網の冷凍入庫は11月中・下旬に行われた。摘採開始は12月中旬からとなった。2月中旬に色調の低下がみられたが、顕著な色落ちは発生しなかった。終漁は3月下旬から4月上旬となった。持網数は平成25年度の78%となり、生産枚数も平成25年度の75%に減少した(表4)。

調査方法

1. 調査点

泉南市岡田浦、樽井、阪南市尾崎、西鳥取、下荘、岬町谷川の6点

2. 調査期間と実施日

2014年11月から2015年3月

巡回指導実施日：11月5日、12月1日、

1月5日、2月2日、2月27日(3月分とした)

3. 調査項目

各養殖漁場で採取した表層海水の塩分、溶存態無機リン(DIP)、溶存態無機窒素(DIN)の測定
ノリの養殖概況の把握

調査結果

表1～4のとおり。

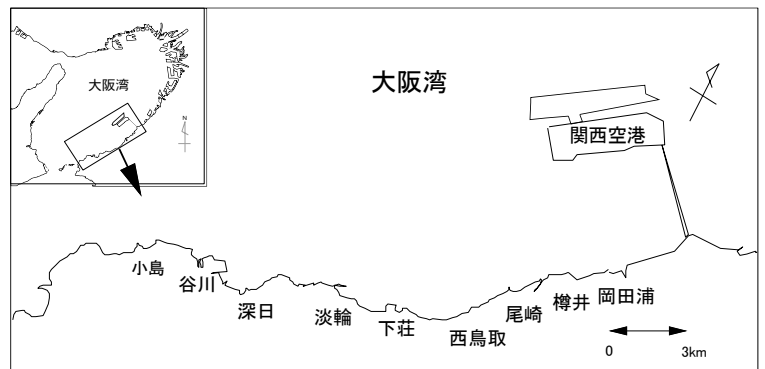


図1 調査点

担当者

鍋島靖信、佐野雅基、田中咲絵（栄養塩分析）

表 1 漁場の表層塩分

月	(psu)					
	岡田浦	樽井	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	31.46	31.52	31.49	31.42	31.63	32.10
12	31.46	31.77	30.69	31.48	31.62	32.93
1	31.18	31.17	30.70	30.55	30.74	31.57
2	27.77	29.30	25.06	30.16	30.34	31.32
3	31.00	31.32	31.37	31.09	31.77	31.71

表 2 漁場のDIP

月	(μ mol/l)					
	岡田浦	樽井	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	0.97	1.11	0.73	1.01	3.74	0.83
12	0.87	0.74	1.30	0.80	0.81	1.05
1	0.45	0.30	0.72	0.79	0.78	0.58
2	0.79	0.59	0.42	0.47	0.55	0.30
3	0.51	0.40	0.45	0.30	0.38	0.36

表 3 漁場のDIN

月	(μ mol/l)					
	岡田浦	樽井	尾崎	西鳥取	下荘	谷川
11	14.82	18.71	12.33	15.95	65.43	10.88
12	13.37	11.47	19.00	11.72	11.03	8.13
1	8.87	6.84	13.15	12.09	12.17	7.13
2	22.27	15.74	11.12	13.74	13.30	6.11
3	8.23	5.14	7.50	5.64	4.37	3.75

表 4 ノリ生産概況の経年変化

年度(平成)	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	前年比(H26/H25)
経営体数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	1.00
持網数(千枚)	1.52	1.62	0.98	1.04	1.05	1.02	0.90	0.86	0.86	0.67	0.78
生産枚数(千枚)	527	211	164	47	302	296	292	360	343	258	0.75
共販枚数(万枚)	378	151	117	0	25	—	—	—	—	—	—
平均単価(円/枚)	5.41	6.63	5.44	—	6.56	—	—	—	—	—	—